

別府「血の池地獄」オリジナル商品を企画、商品化しました。
芥川龍之介『蜘蛛の糸』と、その舞台である「血の池地獄」を、
紅茶とティーバッグで表現！
その名も

「血の池地獄・紅茶」

『蜘蛛の糸』 ティーバッグ

来年 2027 年 7 月 24 日の芥川龍之介“没後 100 年”に向けて、
約 1 年前から商品化と販売を先行して実施。
今年の 6 月 19 日より、別府「血の池地獄」園内お土産売場にて販売しております。



大分県別府市の観光名所、別府「血の池地獄」(別府市野田 778)。その園内お土産売場にて、「血の池地獄・紅茶 / 『蜘蛛の糸』 ティーバッグ」の販売を 2026 年 6 月 19 日[金]より開始しております。

本日、2026年7月24日は、芥川龍之介の99回目の命日「河童忌」です。
来年2027年に迎える没後100年に、本商品を捧げたいとの思いから商品化しました。

商品化プロジェクトについて

本商品は、別府「血の池地獄」への来訪や認知向上をパーパスとする、
「血の池地獄」オリジナル商品の企画開発プロジェクトより誕生しました。

- ①芥川龍之介の短編小説『蜘蛛の糸』の舞台が「血の池地獄」というファクトの発見。
 - ②来年2027年が芥川龍之介の没後100年に当たること。
 - ③さらに、芥川作品の著作権が没後70年で消滅し、パブリックドメインとなっていること。
- 以上をきっかけにプロジェクトの企画がスタートしました。

「血の池地獄・紅茶」に至った理由

芥川龍之介『蜘蛛の糸』と、その舞台である「血の池地獄」を、
紅茶とティーバッグで表現した理由は、

- ①「血の池地獄」と「紅茶」の色味の共通点。
- ②『蜘蛛の糸』に見立てたティーバッグの紐、お釈迦様の手を印刷したティーバッグの紙タグにより、“お釈迦様が蜘蛛の糸を垂らす”場面を追体験できる。

以上の発見が「ティーバッグ式の紅茶」に至ったきっかけです。

その他、商品について

- 外箱のベースカラーの銀色は、作中の「銀色の蜘蛛の糸」から着想し採用。
- 外箱の天面と側面には英語表記を配置。
- 外箱の中には、個包装が5袋。さらに『蜘蛛の糸』のみ収録した小冊子を1冊同封。
- 小冊子には、『蜘蛛の糸』オリジナル原稿(複製)をもとに独自に書き起こした本文を収録。本文を黒で印刷する中、「血の池」の箇所(7箇所)のみ朱赤で印刷。

以上、外箱、ティーバッグ、個包装、小冊子の全てに『蜘蛛の糸』の世界観と「血の池地獄」を連動させた仕掛けを散りばめました。

芥川龍之介没後100年の前年から先行発売した意図

2027年に迎える没後100年に向け、約1年前から商品化と販売を先行することで、
同氏の没後100年への認知、作家と作品への関心を高めるなどの機運醸成に、
微力ではありますが地方から貢献できればと思います。



血の池地獄・紅茶 / 「蜘蛛の糸」ティーバッグ
和紅茶(ティーバッグ(1袋あたり茶葉 2g))

大分県杵築産和紅茶 個包装 5袋入

販売価格：918 円（税込）

販売者：血の池物産販売 有限会社

企画/デザイン/PR：idea onsen

上記に関して、御社にてニュース番組や記事等に取り上げていただけると幸いです。
どうぞよろしくお願いいたします。

idea onsen

代表 / クリエイティブディレクター：廣崎竜太

HP：www.idea-onsen.jp MAIL：contact@idea-onsen.jp TEL：070-9069-1139